・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

						主なSDGs (17のゴールと169のターゲット)																
分類	No.	チェック項目	基本	チャレ ンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	1 1 xxx	2	3 TATORIE	4 #000-#RE	5 5 5125-781	6 ************************************	7 2926-8ACCC	8 8 #2554 8 #2664	9 9 ##25####0 9 ##25/55	10	11 GARDONS	12 300 AB	13	14	15	16	17
						fire ent	""	3 #470AIC -W+	Ui	` ⊕ "	Ÿ	Ø	8 HEER 1111		(₽)	ABB	CO	•	***	<u>•</u> =	¥_	17 // // / / / / / / / / / / / / / / / /
	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	•		・3ヵ月に1回 訪船時に社員と経営方針などを伝え理解してもらうと 同時に、社員の考えも聞くようにしている。								8	9								17
45	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕 組みを構築している。	•		・年に1回親会社から専門の講師が来て法令遵守の講習を受けている。(全社員)、そして、チェックリストを作り各自及び第3社を立ち合いのもとに確認している。																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	•		・年に1回親会社から専門の講師が来て法令順守とともに不正競争行 為についても講習を受けている。重要な項目に関してはチェックリ ストを作り第三者が立ち合い各自確認している(全社員)										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署な どの体制を整備している。	•		・自社の事業活動(船内廃棄物の分別処理やフードロスへの取り組み)が、どう社会や環境に影響を及ぼすか理解している。 ・問題が生じれば社長が陸上(親会社や公共機関)と連携し対応している。																16	
組織	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	•		・年に1回親会社から専門の講師が来て法令遵守とともに知的財産に ついても講習を受けている。知的財産権のある動画や写真、音楽等 を無断でSNSやメールで送信しないようにしている。(全社員)								8. 2 8. 3	9							16	
公正なる	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	•		・社員のマイナンバーおよび個人情報は社長が管理している。(社 長のPCは他の社員は使用できないようにしている)、また保管場所 を指定し厳重に管理し安易に情報が漏れないようにしている。																16	
取引	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステーク ホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関 係者:消費者、投資家等及び社会全体)	•		・にちゆう会(グループ系列会社の集まり)の会合が年4回開催され、運行に関すること(事故や法改正など)が伝えられ、こちらの意見も聞いてもらっている。それにより改善に繋げられている。運輸局や海上保安庁の通達をオペレーターや海運組合を通じて入手し会社の運営や船舶の運航に役立てている。																16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様 性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメン ト・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでい る。		•						5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画 (BCP) を策定し、訓練や見直しを行っている。		•										9		11		13. 1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		•									8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		•		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	•		・ハラスメントの具体的事例集を社員に配布し、読み合わせし、差 別や各種ハラスメントが起きないように取り組んでいる。				4. 3 4. 4 4. 5	5. 1 5. 2 5. 5			8. 5 8. 7 8. 8		10. 2 10. 3						16. 1 16. 2 16. 7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取 り組んでいる。	•		・船長が労働安全管理者として、社員に注意事項を伝え、徹底している。 ・船内作業時の落下物対策として安全靴、ヘルメットを整備して、 着用を徹底している。 ・航海当直交代時に前任から後任への引継ぎ時にはアルコール チェックをしている。また、毎年9月(安全衛生月間)の組合主催の 安全講習に参加していいる。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応し ている。	•		・同一労働同一賃金に則り、従業員(正社員・スタッフ・パート社員)の公正な待遇を行っている。					5. 5			8. 5		10. 2 10. 3							
労	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕 事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	•		・働き方改革として、連続した就業6時間以上の休憩取得、船内休日 を計画通り実施している。			3		5. 5			8. 5 8. 8		10. 3							
働・人	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	•		・仕事に必要な海技士、無線技士等の資格の取得に対して経費支援 をしている。				4	5. 5			8	9								
権	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の 向上等に取り組んでいる。	•		・健康診断は会社で費用を負担している。毎年受診するように管理している。また、新型コロナ対応のワクチンの接種、船内での朝夕の2回の体温測定等実施している。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活 躍できる環境の整備に取り組んでいる。	•		・高齢者の雇用に取り組んでいる。現在60歳以上の社員が4名いる。 求人に関しても年齢制限(上限)を設けずに雇用するようにしてい る。				4. 4	5. 1 5. 5			8. 5		10. 2 10. 3						16. 7	

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

							主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)															
分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
					(小学末日が記載する期)	1 EES Modernit	 	-W-	4 sites	(₽	V	Ø	8 ##### 111	9 iiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiii	10 APROFFE 				14 955 ***********************************	15 \$33 *** •==================================	16 throad	17 ####################################
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		•	・親会社とのオペレーションや打ち合わせをWeb会議でするように なった。			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション (DX) の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により 業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		•	・これまで電話やFAXで行っていた運行会社(オペレーター)とのやり とりを新しいシステムでは電子メールを活用したものに変えた。こ れにより聞き取り間違いもなくなり迅速な判断に繋がっている。								8	9. 1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		•				3	4				8	9			12					
	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでい る。	•		・船内で排出される廃棄物はプラスチックなど分別して指定された 製鉄所の置き場に届けるようにして、海洋に排出されないようにし ている。 ・事業所から排出される廃棄物は業者と契約している。			3. 9			6. 3					11. 6	12. 4		14. 1	15. 1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	•		・自社のエネルギー使用量はEXCELシートで管理している。 ・船内の電力について、製鉄所に停泊しているときは製鉄所の電力 を供給することで重油の使用量を削減している。 ・船の運航について急がない場合は、主機関の回転数を落とし省エネ 運行をしている。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	•		・環境省の「簡易計算シート」を使用して温室効果ガスの排出量を 管理している。 ・船の運航について急がない場合は主機関の回転数を落とし省エネ 運行をしている。 ・社用車2台をハイブリッド車とPHV車にしている。		2. 4					7. 2 7. 3 7. a					12. 4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさない ように配慮している。	•		・船内で排出される廃棄物はプラスチックなど分別して指定された 製鉄所の置き場に届けるようにして、海洋に排出されないようにし て環境に悪影響を及ぼさないようにしている。						6. 6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	•		・リサイクルに力を入れている業者を選んで廃棄物処理をしている。 ・鉛蓄電池(バッテリー)はリサイクルのために購入業者に返却している。									9. 4			12. 2 12. 4 12. 5		14. 1	15		
環境	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	•		・船内の水質検査を年1回実施している。また、食堂や飲料水に使用 する清水は浄化装置(浄水器)を通している。		2. 4				6. 1 6. 3 6. 4 6. 6 6. b					11. 5			14. 1 14. 2 14. 3	15		17
現	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる (グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	•		・事務所で使用するコピー用紙や文具などには、グリーン購入商品 を優先している。									9. 4			12. 4 12. 5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		•	・イオングループによるフードドライブ活動に社員に呼び掛け、取 り組んでいる。	1	2				6. 4						12. 3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		•												11. 6 11. 7		13. 1 13. 3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生 可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		•								7. 1 7. 2 7. 3 7. a		9. 4		11.5		13. 1 13. 3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取 組みを推進している。		•							6			9. 4		11. 3 11. 4 11. 5	12. 2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		•							6. 1 6. 3 6. 6					11. 3 11. 4 11. 5	12. 2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		•	・船内で排出される廃棄物はプラスチックなど分別して指定された 製鉄所の置き場に届けるようにして、海洋に排出されないようにし ている。												12. 2 12. 5		14			

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

												主なSDGs	(17のゴ	ールと169	のターケ	デット)					,	
分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
					(小子木日が記載する場)	1 SES	2 1111	3 FATOAL BRICERS	4 Adec	©	6 Hinne	Ø	8 market	9 initiación	10 auces	A L	12 SASAR	13 ANTONE	14 985	15 \$755 ***	16 TATOLE	17 ####################################
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		•	・社用車2台は、ハイブリッド車とPHV車である。									9. 4		11. 2		13. 1 13. 3				
	36	【2050年C02排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年C02排出実質ゼロを目指し、計画的にC02削減に取り組んで いる。		•								7. 1 7. 2 7. 3 7. a		9. 4		11. 6 11. a	12. 8	13				17. 17
	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	•		・5年に1回の定期検査、2年半前後で中間検査、合ドック等を実施 し、船体の安全性と品質維持に取り組んでいる。			3. 9						9			12. 4					
製	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供 や環境整備を行っている。	•		・「船倉入口」「回転物(危険)の近くにはトラマーク」「禁煙 ゾーン」など、船内に、誰でもわかるような標識を数多く設置する ようにしている。									9. 1	10	11. 7						17
品	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		•			2. 3 2. 4					7.3	8	9		11. a	12. 3	13	14	15		17
サービュ	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用 し、木質化を推進している。		•								7					12. 2	13. 1		15		
ス	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組 んでいる。		•		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するな ど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		•			2. 3 2. 4						8. 2	9. 2 9. 4		11. a	12. 2		14	15		17
	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	•		・ライオンズクラブに所属していて、ボランティア活動を主催し参 加もしている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽 減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対 策を進めている。	•		・3ヵ月に1回船上での避難訓練を実施している。 ・救命胴衣は最新のものを準備している。 ・天候に応じて接岸時のロープの強度を変えている。また海水(バラスト)を注水し船体の動揺を少なくしている。				4							11. 5		13. 1			16	
持 続 可		【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助 救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に 参加している。		•		1. 5		3	4						10. 2	11. 5		13. 1			16	17
能 な 社	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		•										9		11	12	13. 1				
会 · 地 方	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGs の普及啓発や教育機会の提供を行っている。		•		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
創生	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		•	・海洋共育センター(宇城市・九州海技学院及び尾道市・尾道海技 学院)の生徒のインターンシップを受け入れている。				4				8. 6		10. 2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		•					4. 4				8. 5 8. 6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水 産業従事者の確保に取り組んでいる。		•			2		4. 3 4. 4 4. 5				8. 6		10. 2		12	13	14	15		17

25 25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。